

議 事 録			
業務件名		須崎市公共下水道施設等運営事業	
日 時		令和 2 年 11 月 20 日 (金)	自 13 : 00 ～ 至 14 : 00
出席者	須崎市建設課 4 名		
	須崎市環境保全課 2 名		
	須崎市農林水産課 1 名		
	(株) クリンパートナーズ須崎 (以下 CPS) 6 名		
打合せ場所		須崎市役所	記録作成者 須崎市建設課
資料	・ 令和 2 年 10 月度モニタリング定例会資料 (CPS)		
打合せ事項、対策・合意事項等			
令和 2 年 10 月度モニタリング定例会			
1.須崎市及び CPS の出席者を確認した。			
2.今月のセルフモニタリングのチェック項番について			
①10 月度に確認すべきチェックリストの項番を確認した。			
3.経営に関する業務			
①10 月度の財務状況を確認した。			
②新型コロナウイルスに関し、全国的に感染者数の増加が顕著であるため、対策を徹底しているとの報告を受けた。			
③10/16 に終末処理場及び場内雨水ポンプ場において、市主催で浦ノ内小学校の社会科見学会が行われ、現地でサポートを行ったとの報告を受けた。			
④10/21,22 に会計監査、10/29,30 に C P S の内部監査を実施したとの報告を受けた。			
⑤10/23 にクリーンセンター横浪勤務社員を対象にコンプライアンス勉強会を行ったとの報告を受けた。			
⑥10 月度から下記の業務について、C P S が第三者委託を行ったことを確認した。			
・ 下水道経営戦略策定業務			
・ 汚水管渠テレビカメラ調査			
・ 浸出水処理施設 No.1 第一調整槽水中攪拌機更新			
⇒ ②～⑤の報告を確認し、④については後日改めて監査結果の報告を受けることとした。			
(次項へ続く)			

打合せ事項、対策・合意事項等
4. 汚水管渠
①10月は最大日降水量 85.0mm であったため、降雨後の巡視は実施していないことを確認した。
②道路陥没リスク対象路線について3路線の巡視点検の結果、異常がなかったことを確認した。
5. 雨水管渠
①10月度から雨水管渠維持管理業務がスタートしたため、業務内容の説明を受けた。
②10月度は多ノ郷排水区のマンホール蓋の巡視結果により、蓋の劣化状況を確認した。
⇒ 今回は、判定による緊急対策箇所はないものの、がたつき、軽微な損傷が見られるものは要経過観察とし、マンホールの劣化度は、マンホール内目視点検の結果と併せて報告を受けることとした。
6. 終末処理場
①10月度は過去5か年の実績値と比べて、流入水量・降水量ともに低い値であったことを確認した。
②放流水質は、全項目で目標値を満足していることを確認した。
③生物膜ろ過槽で少し目詰まりが見られたため、逆洗時間を少し長くして対応しているが、今後も経過観察を継続するとの報告を受けた。
④半年に一度行う予定の塩素混和池の清掃作業を、10/29に実施したことを確認した。
⑤土壌脱臭ファンの分解整備を、11/24に予定していることを確認した。
⇒ ③について、11/25～26に三機工業（株）の担当者が来ることになっているので、現状確認と目詰まり対策について協議するよう依頼した。
7. クリーンセンター横浪
①リサイクルプラザでは火災の再発防止対策として、小型家電類の分別を行っているとの報告を受けた。
②浸出水処理施設の放流水質は全項目について、基準値を満足していることを確認した。
③浸出水処理施設 No.2 スケール分散剤注入ポンプの修繕が完了したことを確認した。
④今年度修繕予定機器及び、来年度修繕を推奨する機器について、その内容を確認した。
⑤安全衛生パトロールにおいて、環境保全課にて補修予定とされていた最終処分場の遮水シートの剥がれを確認したとの報告を受けた。
⇒ ①について環境保全課から、12月から小型家電類の処分を別事業者へ委託する予定であること及び、火災において焼損したソーラーパネルは、撤去したことを説明した。
⑤について環境保全課から、専門業者に依頼して補修を行う予定であることを説明した。
8. 漁業集落排水処理施設
①戸島を除く各処理施設の汚泥引抜量について、現状と昨年度引抜量から、今回引抜量を提案し、農林水産課の了承を得たこと及び、戸島については別途検討中であることを確認した。
②汚泥引抜は、令和3年1月に実施する予定であることを確認した。
(次項へ続く)

打合せ事項、対策・合意事項等
9. 雨水ポンプ場
①10 月度の保守点検結果を確認した。
②終末処理場内雨水ポンプ場の No.3、4 エンジンの不具合の報告を受け、早期の改築更新が必要であることを確認した。
⇒ ②について建設課から、エンジンメーカー等と協議を行い、現状での排水能力確保と不具合のあるエンジン 2 基の更新を検討していることを説明した。
10. その他連絡事項
・ 11/25～26、終末処理場（DHS）の視察が 4 件予定されているため、協力を依頼した。
・ 次回定例会の日程調整を行った。
(以上)

須崎市公共下水道施設等運営事業

モニタリング定例会資料

(令和 2 年 10 月度)

令和 2 年 11 月 20 日



株式会社クリンパートナーズ須崎

【 目 次 】

1	出席者	1
2	開催場所、日時	1
3	セルフモニタリングについて	2
4	経営のモニタリング結果（令和 2 年 10 月度）	3
4. 1	財務管理.....	3
4. 2	内部統制.....	3
4. 3	情報公開.....	4
5	維持管理のモニタリング結果（令和 2 年 10 月度）	5
5. 1	污水管渠.....	5
5. 2	雨水管渠.....	16
5. 3	終末処理場.....	22
5. 4	クリーンセンター横浪.....	26
5. 5	雨水ポンプ場.....	31
6	その他連絡事項	33

1 出席者

団体	所属	出席者
須 崎 市	建設課	4 名
	環境保全課	2 名
	農林水産課	1 名
(株) クリンパートナーズ須崎 (CPS)	取締役	1 名
	企画管理部 調査計画部	2 名
	施設管理部	3 名

2 開催場所、日時

場所：須崎市役所 会議室

日時：令和 2 年 11 月 20 日（金）13 時～

3 セルフモニタリングについて

今月の CPS によるセルフモニタリングは、主に以下の内容について行った。
(10 月度の確認チェックリストは末尾に添付)
また、10/16 に行ったセルフモニタリングにおける主な確認内容を次項以降に記載した。

表 3-1 セルフモニタリング確認表 (R2 年 10 月度)

種別	項目	10月度確認チェックリスト項番
経営	第三者委託	1-3、1-5
	財務状況	1-6、1-7、1-8
	内部統制	1-11、1-13、1-14
	情報公開	1-16
	技術管理	1-17
	地域貢献	1-21
維持管理	リスク管理	2-3
	汚水管渠	2-13
	終末処理場	終-4、終-5、終-6、終-7、終-8、終-10
	漁集処理場	漁-1、漁-2、漁-3、漁-4、漁-5、漁-10
	クリーンセンター横浪	CC-4、CC-5、CC-6、CC-7、CC-9
	雨水ポンプ場	雨P-1、雨P-2、雨P-6、雨P-7、雨P-11
	雨水管渠	雨管-4、雨管-5、雨管-7、雨管-8、雨管-10
附帯、任意	10月度該当なし	同左

4 経営のモニタリング結果（令和2年10月度）

4.1 財務管理

1) 収支結果（令和2年10月度）

- ・10月度の単月収支及び、これまでの収支実績を確認した。

4.2 内部統制

1) CPSの新型コロナウイルス対策（前月同様）

CPSが行っている主な新型コロナウイルス対策としては以下の通りである。

なお、冬場のインフルエンザ対策についてもほぼ同様の内容となるため、継続して対策を行うものとする。

- ・維持管理を担う社員の居室を1Fと2Fに分けて感染リスクを分散する。
- ・ミーティング時には社員間の距離を確保する。
- ・居室入り口に消毒液を設置し小まめに使用する。
- ・フェイスシールドをマンホール内点検時、処理場点検時に装着する。

2) 法令順守

- ・現段階において法令に違反するような事項は確認されていない。（特に就業表にて労基法違反等がないか確認）

3) 会計監査、内部監査

- ・10/21、22に公認会計士による会計監査、10/29、30にNJS内部監査員による内部監査が行われた。

主に会計計算書類、会計処理手順、社内規定等についてチェックを受け、監査結果については整理中である。

4) コンプライアンス勉強会について

- ・10/23にCPSコンプライアンスマニュアルを基に、クリーンセンター横浪の勤務社員を対象に、第1回の勉強会を行った。

5) 社会科見学会について

- ・10月16日に、須崎市終末処理場及び終末処理場内雨水ポンプ場において、浦ノ内小学校4年生の社会科見学会が行われた。CPS社員は、須崎市建設課のご担当者とともに、終末処理場内施設の説明補助等を担当した。



図 4-1 社会科見学の様子

4.3 情報公開

- ・ホームページに過去の定例会の概要（議事録）、施設の維持管理状況（放流水質等）をアップしている。

5 維持管理のモニタリング結果（令和2年10月度）

以下に、令和2年10月度における維持管理状況のモニタリング結果を示した。

確認はチェックリストにより行い、確認資料の抜粋編を以下に記載した。

※点検管理内容の詳細は、別添の各施設管理月報、日報資料参照

5.1 污水管渠

污水管渠の維持管理として、当面は主に、平成29年度に実施された污水管渠劣化調査結果を基に、以下の対象箇所の点検調査を優先的に行う。

表 5-1 点検・調査集計表

①道路陥没リスク			②管渠閉塞リスク			③-1影響度の大きい管路 (幹線管渠)			③-2影響度の大きい管路 (県道下管渠)			④腐食環境下路線 (急勾配直下管渠)		
路線番号	管種・管径	延長	路線番号	管種・管径	延長	路線番号	管種・管径	延長	路線番号	管種・管径	延長	路線番号	管種・管径	延長
1-0-2	HP600	10.76	5-0-13	VU200	63.45	1-0-2	HP600	155.9	5-1-3	HP250	47.55	5-6-1-1	VU200	16.35
5-0-11	VU200	52.5	5-0-13	VU200	48.05	1-0-2	HP800	99.25	5-1-4	VU200	40.55	5-5-2	VU200	22.7
5-0-1bs	VU200	24.9	5-0-1bs	VU200	33.9	1-0-3	HP600	25.35	5-1-5	VU200	23.7	5-5-5	VU200	64.4
5-0-1cs	VU200	29.95	5-6-1-1	VU200	48.95	1-0-3	VU600	28.7	5-1-6	VU200	142.45	5-5-7	VU200	37.8
5-1-2	HP250	64.55	5-6-3a	VU200	23.05	5-0-1a	VU300	56.1	5-1-1-1	VU200	78.15	5-5-8	VU200	39.9
5-0-2bs	VU200	24.95	5-7-1b	VU200	96.95	5-0-1b	VU300	60.05	5-1-4-1	VU200	64.35	5-5-9	VU200	33
5-0-2cs	VU200	35.25	5-8-1	VU200	32.2	5-0-1c	VU300	60.15	5-1-4-3	VU200	102.45	5-5-3-2	VU200	44.2
5-2-1-1a	VU200	12.85	5-9-3	VU200	26.55	5-0-1d	VU300	64.05	5-1-4-2	VU200	38.15	5-5-3-3	VU200	113.6
5-0-6-cS	VU200	30.85	5-9-4	VU200	61.55	5-0-2a	VU300	6.65	5-2-1	VU200	35	5-5-5-2	VU200	37.95
5-9-8-1	VU200	18.1	5-9-4-2	VU200	13.05	5-0-2b	VU300	52.55	5-2-2	VU200	80.35			
5-9-1-1	VU200	32.4	5-5-3	VU200	11.7	5-0-2c	VU300	58.15	5-8-1	VU200	64.15			
5-9-5-1-1a-1	VU200	33	5-5-4	VU200	13.55	5-0-3	VU250	38.05	5-4-1a-1	VU200	61.5			
5-11-1	VU200	36.95	5-5-6	VU200	64.2	5-0-4	HP250	38.35						
5-11-4a	VU200	26.3	5-5-10c	VU200	17.65									
5-11-4b	VU200	25.7												
5-11-3-1	VU200	30.6												
5-5-10a	VU200	18.35												
5-5-3-1-1	VU200	33.85												
5-5-3-4	VU200	10.85												
5-5-4-1b	VU200	17.5												
延長計		570	延長計		555	延長計		743	延長計		778	延長計		410

※1: ①、②は、H29年度実施の污水管渠劣化調査結果より集計。

※2: ③、④は、H30年度事業計画図書等より集計。

※3: 延長は、人孔間延長を計上し、①～④で重なる部分は若い番号（優先度高）で計上。

1) 大雨時の巡視

・対象箇所

大雨後の巡視は、日降水量 100mm 以上を目安に実施しており、10 月度は、10 月 22 日（木）の日降水量 85.0mm（気象庁データ）が最大量であった。従って、10 月度の巡視・点検は実施していない。



図 5-1 全体平面図

2) 道路陥没リスク箇所の巡視・点検

・対象箇所

污水管渠及び人孔の巡視・点検として、道路陥没リスクが高いとされている 5-11-1 路線、5-9-1-1 路線及び 5-0-6cS 路線について、10 月 6 日に実施した。(次項、位置図参照)

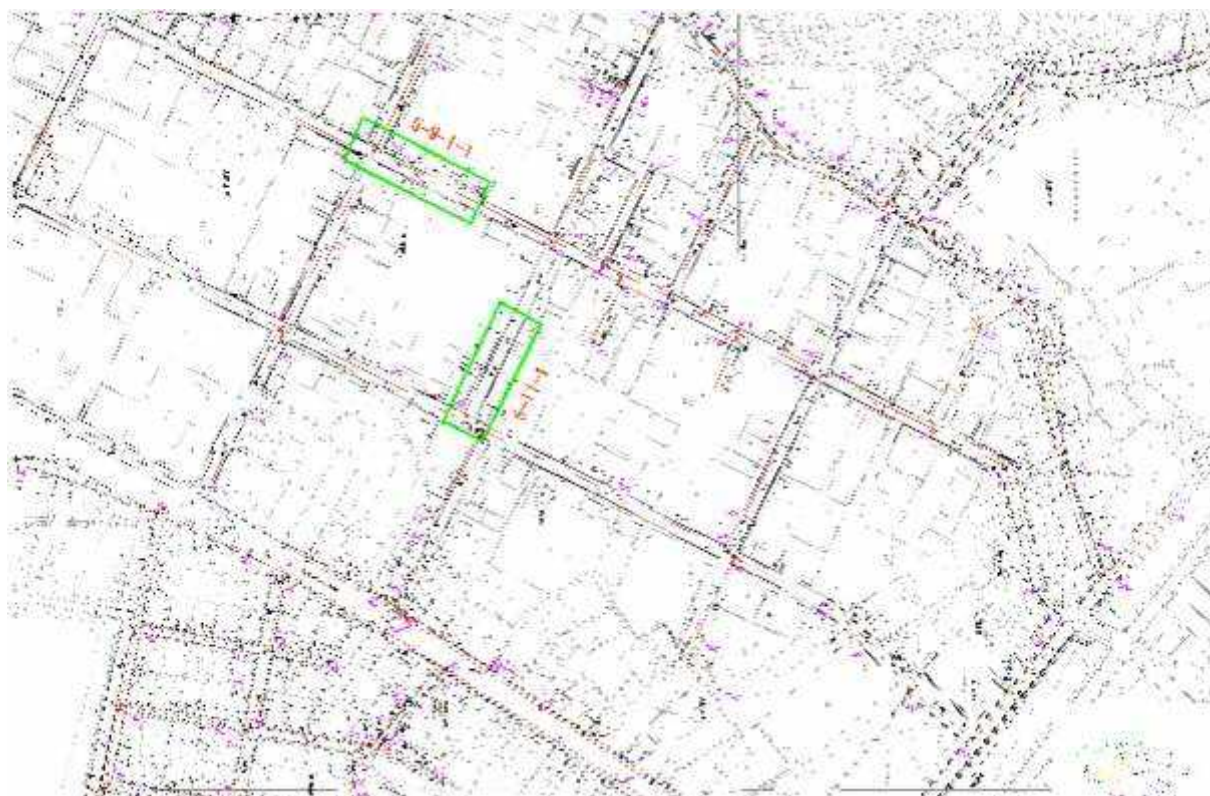


図 5-2 対象路線位置 1/2



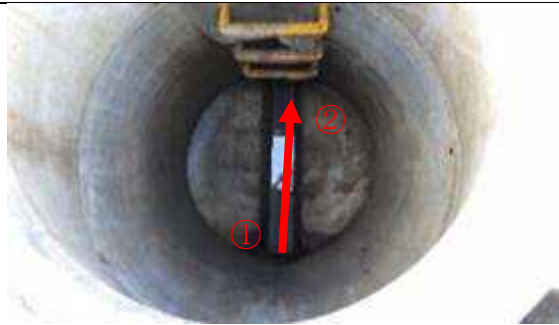
図 5-3 対象路線位置 2/2

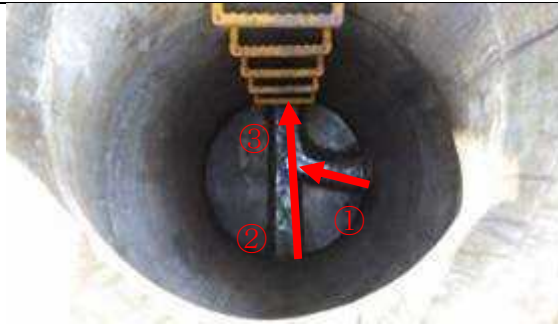
・点検結果（特記事項）

次項から、巡視・点検の代表地点の写真を添付し、各路線の特記事項を記す。

また、巡視・点検内容は、「下水道維持管理指針（実務編）2014 年版」に基づき、実施した。

路線全体の巡視・点検内容は、月間報告書に整理する。

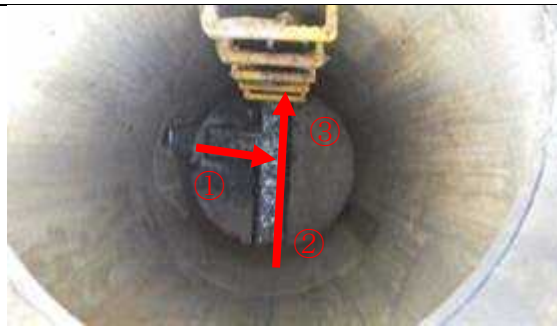
5-11-1 路線 S240 人孔	S240-マンホール蓋
	
S240 人-孔内	S240-人孔内
	
S240-①上流管口	S240-②下流管口
	
5-11-1 路線 S27 人孔	S27-マンホール蓋
	

S27-人孔内	S27-人孔内
	
S27-①上流（5-11-1 路線）管口	S27-②上流（5-0-9 路線）管口
	
S245-③下流（5-0-8 路線）管口	
	

【5-11-1 路線】

S240 人孔及び S27 人孔の管口から確認できる範囲では、特筆すべき管渠の異常は見られなかった。

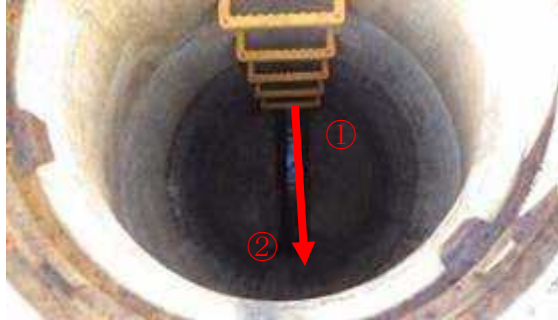
5-9-1-1 路線 S189 人孔 	S189-マンホール蓋 
S189-人孔内 	S189-人孔内 
S189-①上流管口 	S189-②下流管口 
5-9-1-1 路線 S177 人孔 	S177-マンホール蓋 

S177-人孔内	S177-人孔内
	
S177-①上流（5-9-1-1 路線）管口	S177-②上流（5-9-2 路線）管口
	
S177-③下流管口	
	

【5-9-1-1 路線】

S189 人孔及び S177 人孔の管口から確認できる範囲では、特筆すべき管渠の異常は見られなかった。

5-0-6cS 路線 S22 人孔 	S22-マンホール蓋 
S22-人孔内 	S22-人孔内 
S22-①上流 (5-0-7 路線) 管口 	S22-②上流 (5-8-1 路線) 管口 
5-0-6cS 路線 S167 人孔 	S167-マンホール蓋 

S167-人孔内	S167-人孔内
	
S167-①上流管口	S167-②下流管口
	

【5-0-6cS 路線】

S22 人孔では、管渠位置が深く、十分な管口確認ができなかった（下流管口は撮影不可）ものの、S167 人孔とともに管口から確認できる範囲では、特筆すべき管渠の異常は見られなかった。

3) 管路閉塞リスク箇所の巡視・点検

道路陥没リスク対象路線については、11月に実施しているTVカメラ調査と合わせてすべての路線の巡視・点検を行った。11月度からは、以下に示す管路閉塞リスク対象路線の巡視・点検を予定する。

表 5-2 点検・調査集計表

①道路陥没リスク			②管渠閉塞リスク			③-1影響度の大きい管路 (幹線管渠)			③-2影響度の大きい管路 (県道下管渠)			④腐食環境下路線 (急勾配直下管渠)		
路線番号	管種・管径	延長	路線番号	管種・管径	延長	路線番号	管種・管径	延長	路線番号	管種・管径	延長	路線番号	管種・管径	延長
1-0-2	HP600	10.76	5-0-13	VU200	63.45	1-0-2	HP600	155.9	5-1-3	HP250	47.55	5-6-1-1	VU200	16.35
5-0-11	VU200	52.5	5-0-13	VU200	48.05	1-0-2	HP800	99.25	5-1-4	VU200	40.55	5-5-2	VU200	22.7
5-0-1bs	VU200	24.9	5-0-1bs	VU200	33.9	1-0-3	HP600	25.35	5-1-5	VU200	23.7	5-5-5	VU200	64.4
5-0-1cs	VU200	29.95	5-6-1-1	VU200	48.95	1-0-3	VU600	28.7	5-1-6	VU200	142.45	5-5-7	VU200	37.8
5-1-2	HP250	64.55	5-6-3a	VU200	23.05	5-0-1a	VU300	56.1	5-1-1-1	VU200	78.15	5-5-8	VU200	39.9
5-0-2bS	VU200	24.95	5-7-1b	VU200	96.95	5-0-1b	VU300	60.05	5-1-4-1	VU200	64.35	5-5-9	VU200	33
5-0-2cS	VU200	35.25	5-8-1	VU200	32.2	5-0-1c	VU300	60.15	5-1-4-3	VU200	102.45	5-5-3-2	VU200	44.2
5-2-1-1a	VU200	12.85	5-9-3	VU200	26.55	5-0-1d	VU300	64.05	5-1-4-2	VU200	38.15	5-5-3-3	VU200	113.6
5-0-6-cS	VU200	30.85	5-9-4	VU200	61.55	5-0-2a	VU300	6.65	5-2-1	VU200	35	5-5-5-2	VU200	37.95
5-9-8-1	VU200	18.1	5-9-4-2	VU200	13.05	5-0-2b	VU300	52.55	5-2-2	VU200	80.35			
5-9-1-1	VU200	32.4	5-5-3	VU200	11.7	5-0-2c	VU300	58.15	5-8-1	VU200	64.15			
5-9-5-1-1a-1	VU200	33	5-5-4	VU200	13.55	5-0-3	VU250	38.05	5-4-1a-1	VU200	61.5			
5-11-1	VU200	36.95	5-5-6	VU200	64.2	5-0-4	HP250	38.35						
5-11-4a	VU200	26.3	5-5-10c	VU200	17.65									
5-11-4b	VU200	25.7												
5-11-3-1	VU200	30.6												
5-5-10a	VU200	18.35												
5-5-3-1-1	VU200	33.85												
5-5-3-4	VU200	10.85												
5-5-4-1b	VU200	17.5												
延長計		570	延長計		555	延長計		743	延長計		778	延長計		410

※1:①、②は、H29年度実施の污水管渠劣化調査結果より集計。

※2:③、④は、H30年度事業計画図書等より集計。

※3:延長は、人孔間延長を計上し、①～④で重なる部分は若い番号(優先度高)で計上。

5.2 雨水管渠

雨水管渠の維持管理については、当面は主に、市が重要な管渠として指定している雨水幹線、ポンプ場の流入渠、放流渠を重点路線とし、以下の対象路線の巡視・点検調査を優先的に行う。（次項、位置図の赤色で示された路線）

また、その他の管渠（暗渠のみ、位置図の青色で示された路線）についても、整備当初から 40 年以上経過した管渠もあり、道路陥没等の人心や都市機能に重大な影響を及ぼしかねない恐れがあるため、重点路線と合せて順次、巡視・点検を行う。

表 5-3 点検・調査の重点路線

排水区の名称	幹線、ポンプ施設の名称
多ノ郷排水区	西崎第 2 幹線
	終末処理場内ポンプ場の流入渠
大間排水区	大間ポンプ場の流入渠
山下排水区	山下幹線
朝ヶ谷排水区	朝ヶ谷幹線
須崎排水区	須崎ポンプ場の流入渠、放流渠
須崎西部排水区	須崎西部ポンプ場の流入渠
浜町排水区	浜町ポンプ場の流入渠

要求水準書に基づき、対象路線の下記業務について年 2 回の調査を行う。

- ①マンホール蓋の巡視・点検業務（圧力マンホール）
- ②マンホール内目視確認業務（圧力マンホール以外）

なお、今後の管渠調査計画としては、維持管理業務開始から 2 年以内に、主に重点路線を対象とした劣化調査（ドローン等を活用）を行い、管路の損傷状況等について整理する。

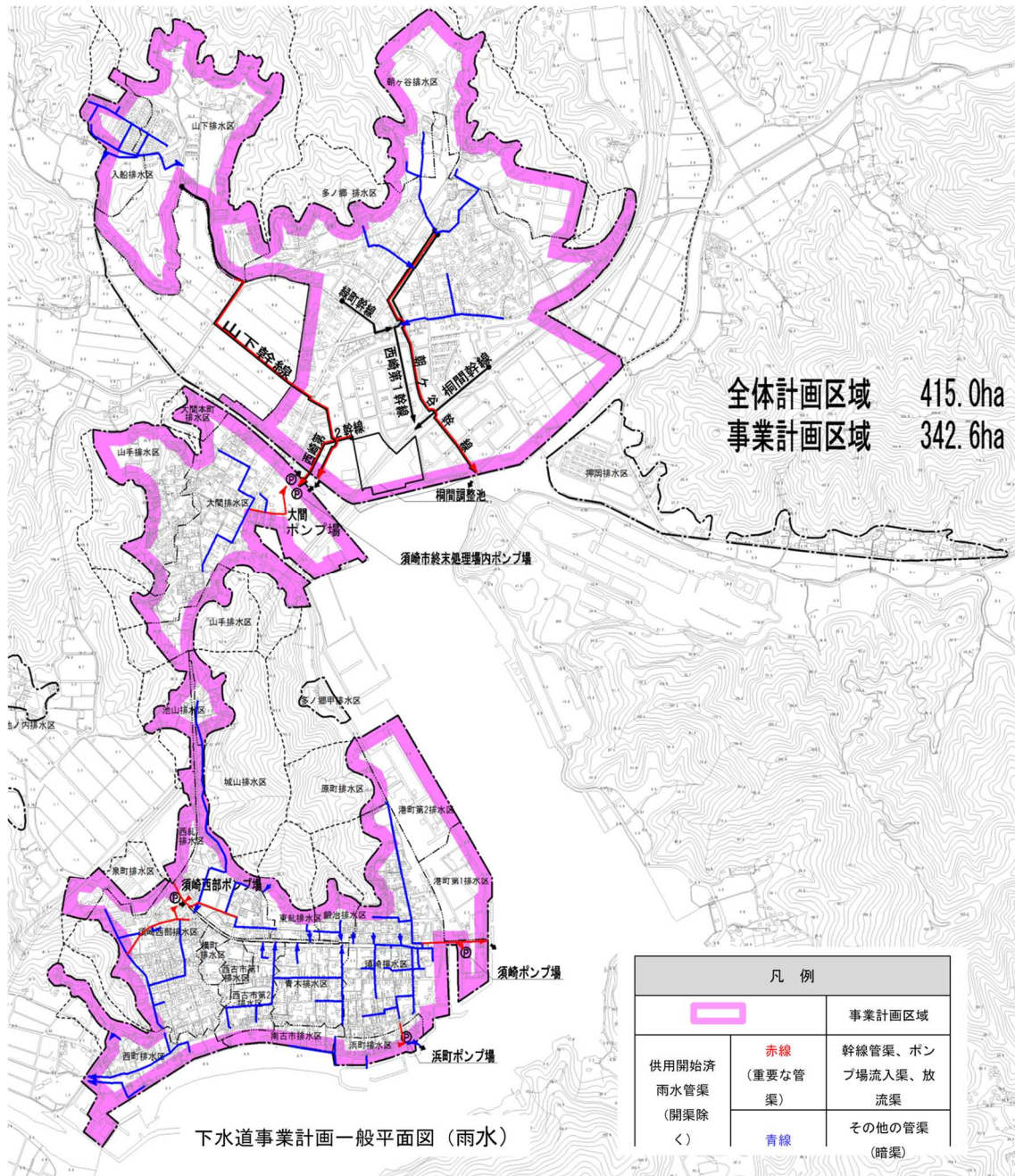


図 5-4 全体位置図

1) マンホール蓋の巡視・点検

今回 10 月度の巡視・点検では、次項に示す路線のマンホール蓋の巡視を実施した。

マンホール蓋の巡視・点検における判定基準は以下のとおりとし、巡視におけるマンホール蓋の状態を一覧表に整理する。緊急度判定は、マンホール本体の点検結果と併せて行う。

表 5-4 マンホール蓋の点検及び調査における判定基準

項目					判定ランク						
					A	B	C	D	E		
機能不足	設置基準適合性	耐荷重種類別	車道	大型車両の通行あり	T-8	T-14	T-20	—	T-25		
			大型車両の通行なし	—	T-8	—	—	T-14 T-20 T-25			
				歩道	—	—	—	—	T-8 T-14 T-20 T-25		
		浮上・飛散防止機能				機能なし	—	—	—	機能あり	
		転落・落下防止機能				機能なし	—	—	—	機能あり	
		機能支障	浮上・飛散防止機能の作動				作動しない (錠, 蝶番の脱落, 固着, 腐食減肉が顕著)	—	—	—	正常に作動する
			不法投棄・侵入防止機能の作動（専門工具以外利用）				容易に開く	—	—	—	正常に作動する (容易に開かない)
	転落・落下防止機能の作動				作動しない	—	—	—	正常に作動する		
	開閉機能の作動				人力では開閉不能	勾配面の腐食により開閉困難	食込み力増大による開閉困難	—	正常に開閉可能		
	性能劣化	マンホール蓋	外観（ふた及び受枠の破損・クラック）			ある	—	—	—	なし	
がたつき			がたつきがある	—	—	—	なし				
表面摩耗（模様高さH）			車道	≦2mm	—	2～3mm	>3mmかつ 錆肌無	>3mmかつ 錆肌有			
			歩道	≦2mm	—	—	2～3mm	>3mm			
腐食（錆出し表示の消滅）			—	見えないほどの発錆	—	見えるが少し発錆	なし				
ふた・受枠間の段差			急勾配受け構造	ふたの沈み	≧2mm	—	—	—	<2mm		
				ふたの浮き	≧10mm	—	—	—	<10mm		
			平受け構造・緩勾配受け構造	≧10mm	—	—	—	<10mm			
高さ調整部の損傷（欠け・充填不良・クラック）			あり	—	—	—	なし				
周辺舗装		損傷（穴、クラック）			どちらもある状態	クラックあり、かつ穴がない	どちらもないが、受枠と路面との間に隙間ができている	—	なし		
	ふたと周辺舗装の段差			≧20mm	—	—	—	<20mm			

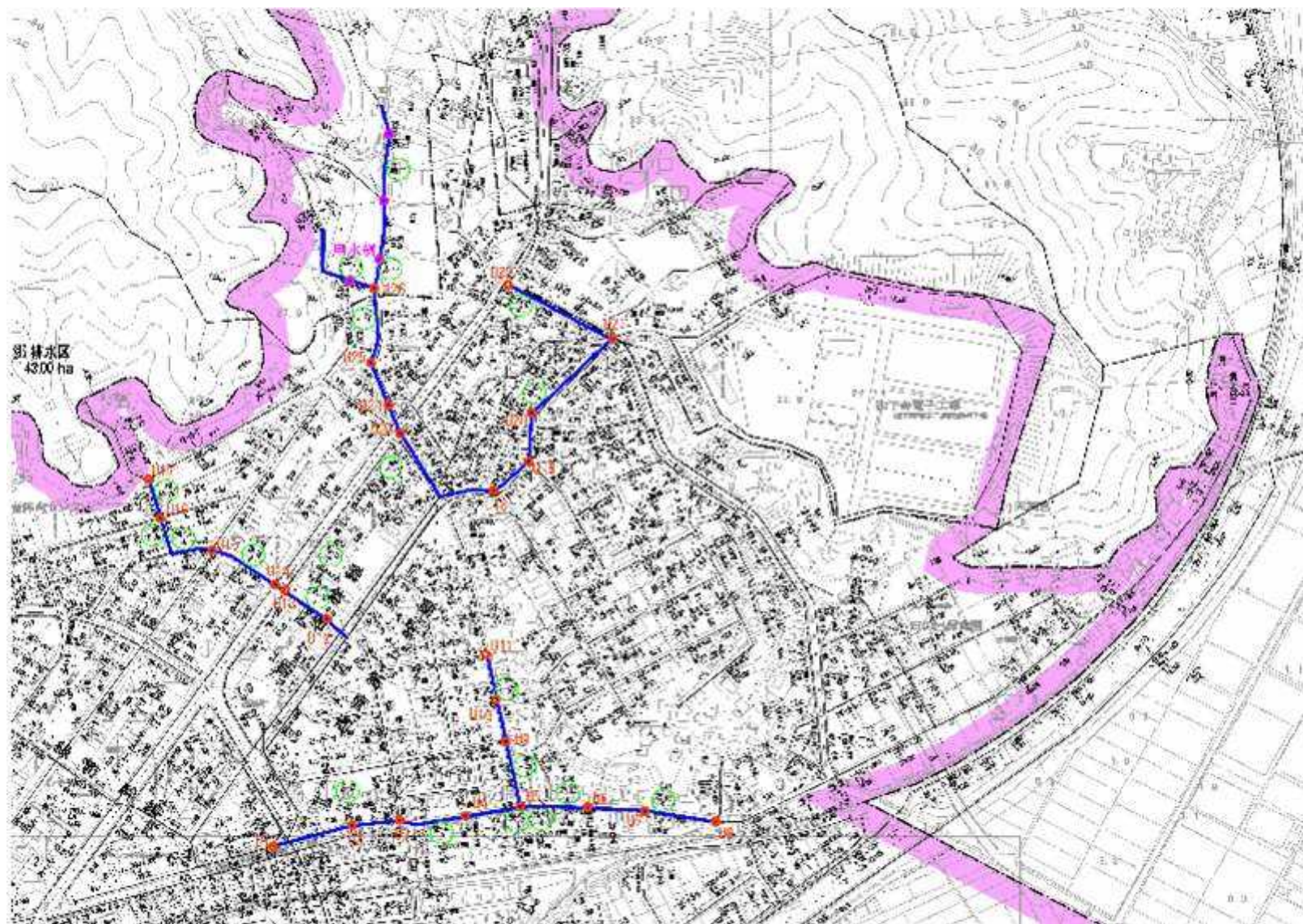


図 5-5 巡視位置

表 5-5 マンホール蓋の巡視・点検結果集計表 1/2

区分	幹線	道路番号	区番・マン ホールID	区番 ID(区)	マンホール番号	マンホール点検												長官印記	
						点検 項目 (点検項目・ チェック)	点検 結果	表面状態 (目視確認)		陥没 深度 (点検時)	蓋・蓋材の状況		蓋材の材質 (目視確認)	蓋材の形状 (目視確認)	蓋材の設置 (目視確認)	蓋材の固定 (目視確認)	蓋材の 点検結果	蓋材の 点検結果	
								点検 項目	点検 結果		点検 項目	点検 結果							
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区		

表 5-6 マンホール蓋の巡視・点検結果集計表 2/2

区分	種類	点検箇所	管径・蓋径 (mm)	高さ (mm)	点検結果											
					点検箇所	マンホール蓋								点検結果		
						材質 (種類・規格・ クランク)	形状	寸法 (mm)		材質 (種類・規格・ 表示の種類)	蓋と枠との隙間				蓋の 破損・変形 (クラック)	蓋と枠との 隙間の 状況
								長さ	幅		隙間の長さ	隙間の幅	蓋の破損・ 変形の種類	蓋の破損・ 変形の状況		
管内線	その他の種類	23-15-6	11500×900	50.00	017	鉄板 枠	なし E	なし C	<3mm E	なし C	<2mm C	<10mm E	なし E	クラック E	なし C	
	その他の種類	23-6-3	φ2700	250.00	018	鉄板 枠	なし E	なし E	<3mm E	なし E	<2mm E	<10mm E	なし E	なし E	なし E	
	その他の種類	23-6-7	φ2400		019	鉄板 枠	なし F	なし F	<3mm F	なし F	<2mm F	<10mm F	なし F	クラック E	なし F	
	その他の種類	23-6-2	φ2400		020	鉄板 枠	なし E	なし C	<3mm E	なし C	<2mm C	<10mm E	なし E	なし C	なし C	
	その他の種類	23-6-2	φ2700		021	鉄板 枠	なし E	なし C	<3mm E	なし C	<2mm C	<10mm E	なし E	なし C	なし C	
	その他の種類	23-6-3	φ1800	170.00	022	鉄板 枠	なし F	なし F	<3mm F	なし F	<2mm F	<10mm F	なし F	なし F	なし F	
	その他の種類	23-11	φ2000	05.00	023	鉄板 枠	なし F	なし F	<3mm F	なし F	<2mm F	<10mm F	なし F	なし F	なし F	
	その他の種類	23-11-2	11500×1250	150.00	024	鉄板 枠	なし E	なし C	<3mm E	なし C	<2mm C	<10mm E	なし E	なし C	なし C	
	その他の種類	23-11-2	11500×1250		025	鉄板 枠	なし E	なし E	<3mm E	なし E	<2mm E	<10mm E	なし E	クラック E	なし E	
	その他の種類	23-11-2	11500×1250		026	鉄板 枠	なし F	なし F	<3mm F	なし F	<2mm F	<10mm F	なし F	クラック E	なし F	

5.3 終末処理場

1) 流入水量の状況

10月の流入水量は下図の通りである。平均値が $365\text{m}^3/\text{日}$ 、最大値が $559\text{m}^3/\text{日}$ であった。これまでと同様に、流入水量は降水量の影響を受けている。

また、過去5か年の流入水量、降水量の実績を添付した。今月は、流入水量、降水量ともに過去5年間の中では低めの値となっている。

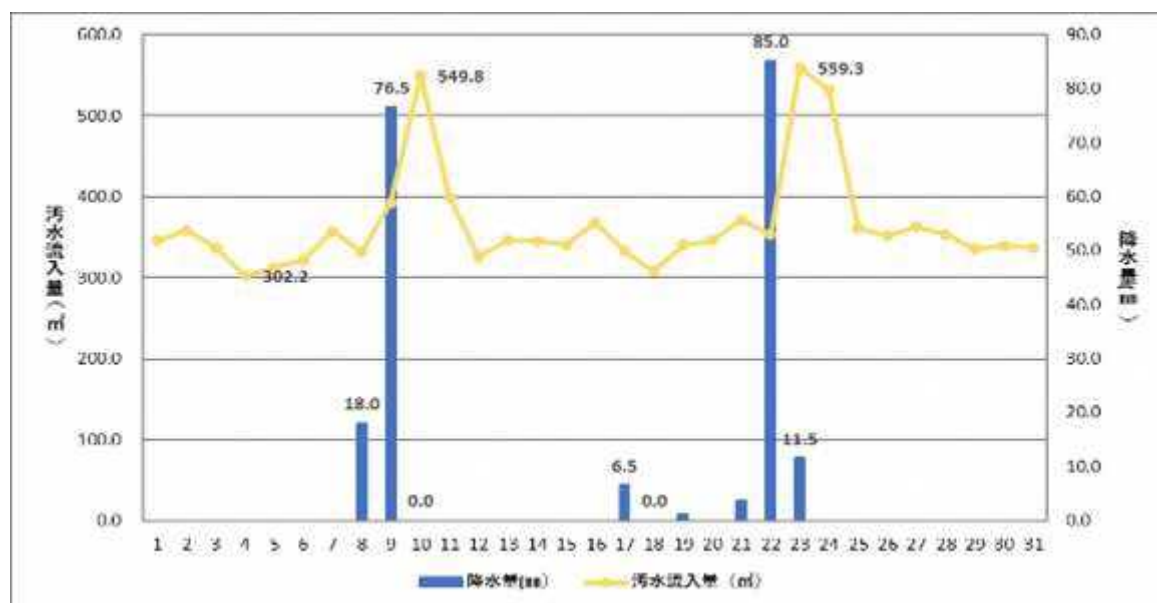


図 5-6 須崎市終末処理場の流入水量（R2年10月）

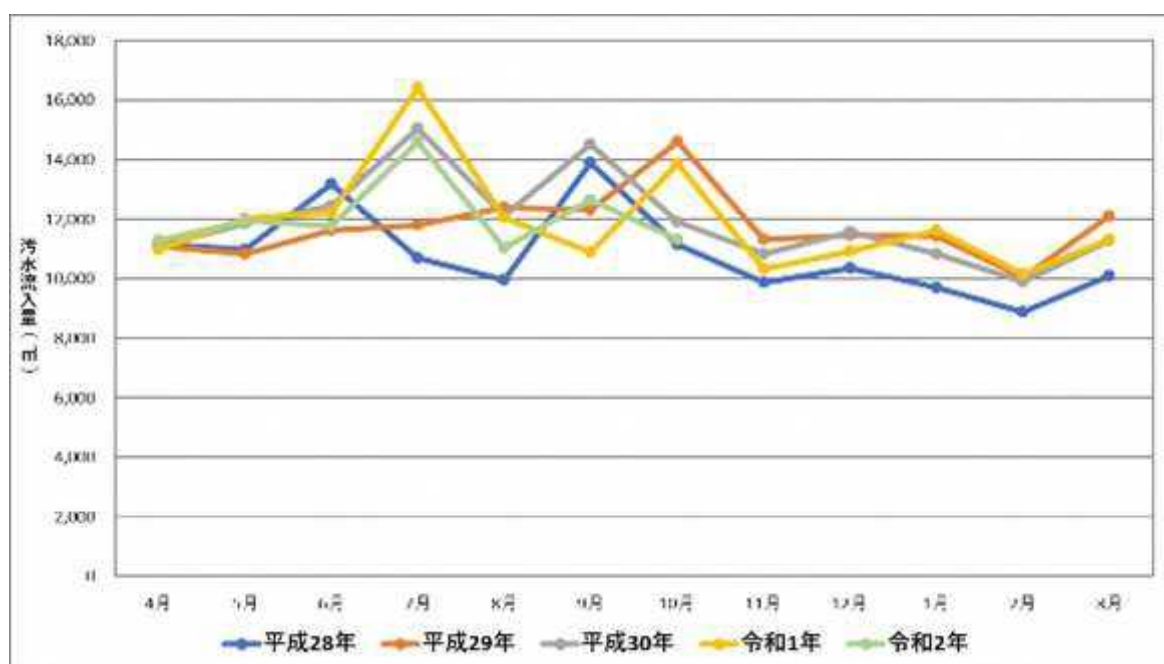


図 5-7 須崎市終末処理場の月別流入水量推移

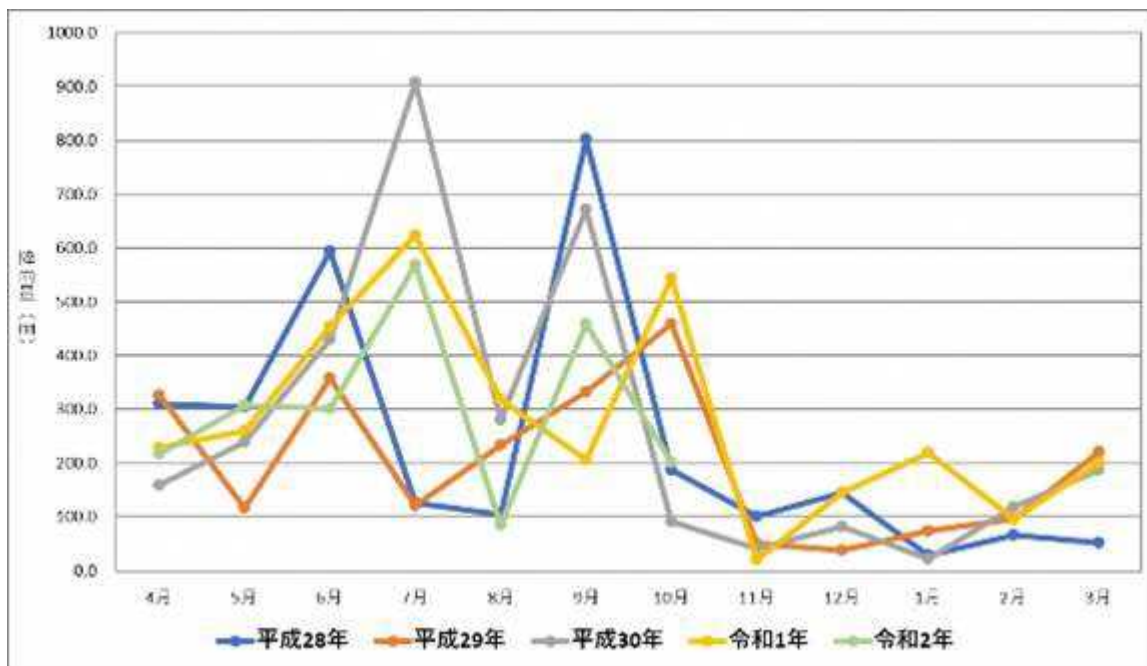


図 5-8 須崎地区月間降水量の推移（気象庁データ）

2) 放流水質の状況

目標値としての各水質は下表の通りであり、全項目において目標値を満足していた。

表 5-7 放流水質試験結果

水質項目	目標値	水質試験結果 (10 月水質試験平均値)	備考
pH	5.0～9.0	6.8	
BOD	15mg/ℓ以下	0.4	
SS	30 mg/ℓ以下	4.5	
大腸菌群数	3,000 個/cm ³ 以下	0	

3) 維持管理業務について

10 月に行った点検管理の実績表を添付した。

須崎市終末処理場においては特に大きな故障、緊急対応等は生じなかった。

表 5-8 終末処理場の点検管理実績表 1/2 (R2 年 10 月)

須崎市終末処理場		令和 2 年 10 月 運転管理実施表																														
日・曜日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
項目		木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
機器 運転	機器点検	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	運転日報	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	汚泥処理・脱水機運転		●				●			●				●			●					●			●				●			●
	脱水ケーキ搬出																															
電気 点 検	電気点検	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	汚水マンホール室フラッシング	●							●							●								●						●		
	非常通報装置点検																							●								
機 械	点検/グリスアップ/清掃 ○ 処理棟各機器 □ 機械室各機器							●							●								●						●			
	スクリーンユニット (スカラベ)点検	●	●			●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●
	汚水スクリーン点検 し道脱水機点検	●							●							●								●						●		
	DHSヘッダー管分解清掃	●														●												●		●	●	
	DHSろ床散水、清掃							●							●															●		
	自動分析計 ○ DHSろ床処理水 分解洗浄 □ 生物膜ろ過処理	■				●							●			■	■			●							●				●	
	○ DHSろ床排風ダクト清掃 □ 生物ろ過膜槽アスサイト投入		●					■	■							●																
	固形塩素注入器 点検、補充	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
水 質 分 析	平常試験								●						●															●		
	中試験																							●								
	濃縮脱水試験 (月に1回、中 試験と重複しない)		●																													
備 考	・濃縮脱水試験は、月毎に1度実施する。供給汚泥濃度、脱水ケーキ含水率は、脱水時毎回実施。																															
	・DHSろ床散水ヘッダー管分解清掃は、週2回、適宜汚れ具合で実施する。																															

※1：10月の脱水ケーキ発生量は 2,976 kgで、大阪住友セメントへの搬出はなし

※2：その他、脱水機点検、処理棟各機器点検等を実施（別途10月作業実施表参照）

4) 機器の点検結果による考察

- ・土壌脱臭ファン運転時に異音があり、前回修繕から6年以上経過しているため、更新を推奨する。
- ・N0.2床排水ポンプはこれまで修繕、更新履歴がなく老朽化が見られ、大雨時に故障となった場合に地下管廊水没の恐れがあるため、更新を推奨する。
- ・N0.1・2ろ過水ポンプのグラント部から水漏れが発生している。メーカーによる点検、補修を推奨する。

上記点検結果を踏まえ、修繕推奨機器リストを添付した。

表 5-9 修繕推奨機器リスト（須崎市終末処理場）

委託業務の名称		令和２年度 須崎市終末処理場運転維持管理等包括的民間委託業務 修繕推奨項目				2020年11月10日改定	1/1
提案日	件数	緊急度	対象箇所	件名	概算金額	完了日	備考
令和2年5月20日	1	A	土壌脱臭ファン	分解整備			修繕番号 02-03 実施準備中
令和2年5月20日	2	A	No. 2 床排水ポンプ	更新			
令和2年5月20日	3	B	No. 1、2ろ過水ポンプ	更新or運用変更			
備考	緊急度の判定基準 S：不具合を生じている、または生じる可能性が高く代替機器等がないため早急の実施を要求するもの A：不具合の可能性があり、水処理・汚水処理に対する影響が大きく1年以内を目処に実施を要求するもの B：水処理・汚泥処理に対する影響があり、今後2～3年以内に実施を要求するもの C：直ちに水処理・汚泥処理に影響する可能性が低く、5年程度内に実施を要求するもの						

5.4 クリーンセンター横浪

1) 浸出水処理施設の放流水質の状況

毎月 1 回の水質検査結果は下表の通りであり、全項目について基準値を満足している。

表 5-10 浸出水処理施設の放流水質の試験結果

水質項目	基準値	水質試験結果	備考
pH	5.0～8.6	7.5	
BOD	20mg/ℓ以下	<0.5mg/ℓ	
COD	20mg/ℓ以下	3.5mg/ℓ	
SS	30mg/ℓ以下	<1mg/ℓ	
T-N	20mg/ℓ以下	4.8mg/ℓ	

※同時に原水のカルシウム、地下水の塩化物イオン濃度も測定しているが、異常値は確認されていない。

2) 維持管理業務について

10 月に行った点検管理の実績表を添付した。

なお、不燃ごみの前処理作業として、9 月に発生したリサイクルプラザの火災を受け、不燃ごみの中の小型電子機器類の選別作業を行っている。

また、火災により焼失したリサイクルプラザ屋上に設置されていたソーラーパネルは撤去された。

表 5-8 クリーンセンター横浪運転管理実績表（R2 年 10 月）

須崎市最終処分場		令和 2 年 10 月										運転管理実施表																					
項目 日・曜日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
		木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
機器 運 転	運転日誌		●			●		●		●			●		●		●				●		●		●			●		●		●	
	機器点検日誌					●							●								●						●						
	第一モニタリング井戸ポンプ 自動 運転 開始					●							●								●						●						
	第一モニタリング井戸ポンプ 自動 運転 停止		●							●						●								●								●	
	第一凝集沈殿槽汚泥引抜ポンプ 手動運転(5分)					●							●								●						●						
	機器切替																										●						
	非常放流各弁開閉(遮断弁 ・仕切弁・調整槽上部)					●																											
	固形塩素注入器 点検、補充		●			●					●			●			●				●			●			●					●	
	凝集助剤溶解装置 ストレーナ分解清掃															●														●			
水 質 分 析	水質分析週報									●																							
	水質分析月報																												●				
	pH計点検		●														●							●								●	
	第一混和槽pH計洗浄					●		●		●			●		●					●		●		●			●		●				
そ の 他	遮水シート確認					●							●							●							●						
	汚泥貯留槽水抜き							●														●											
	場内外清掃		●			●				●										●		●		●					●		●		
	場内外草刈														●																		

3) 浸出水処理施設の点検結果による考察

- ・ろ過原水ポンプ（No. 2）の漏電故障により、ろ過原水ポンプにおいて予備機の無い状態となっている。No. 1 ポンプに故障が生じた場合、水処理がストップする可能性があるため、更新等による早期復旧を推奨する。
- ・No. 1 第一調整槽水中攪拌機が漏電により運転停止状態となっている。この状態が長期にわたる場合、処理水質に影響が出る可能性があるため、更新等による早期復旧を推奨する。
- ・日報作成装置の故障により、データ収集が出来ないため、更新等による早期復旧を推奨する。
- ・給水ユニットは薬品溶解に必要であり、運転不能となった場合、水処理に影響が出るが、供用開始時から運用されているため更新時期であると判断される。
- ・遮水シート漏水監視システム電極切替器の液晶表示部に複数のライン抜けがあり、システム全体に不具合がある可能性があるため、メーカーによる機能診断の実施を推奨する。
- ・No. 2 曝気ブロワが異音により運転停止状態であり、部品交換等の整備を推奨する。
- ・No. 2 第二調整槽水中攪拌機は、供用開始時から整理履歴が無いと推定されるが、運転不能となった場合に処理水質への影響が懸念されるため、分解、整備等を推奨する。
- ・脱窒槽攪拌機は、運転電流値が定格を超えており、前回整備から約 15 年が経過しているため更新等を推奨する。
- ・原水ポンプは予備機が無い状態となっており、故障が生じた場合に水処理に影響が出るため、No. 1 原水ポンプの更新を推奨する。
- ・No. 1 凝集剤注入ポンプが異音により運転停止となっており、比較的安価な機器のため更新を推奨する。
- ・No. 1、2 返送ポンプの仕切弁が損傷し、スムーズに作動出来なくなっているため、交換を推奨する。

上記点検結果を踏まえ、修繕推奨機器リストを作成した。

表 5-9 修繕推奨機器リスト（クリーンセンター横浪）

委託業務の名称	令和2年度 須崎市クリーンセンター横浪運転維持管理等包括的民間委託業務 修繕推奨項目						2020年11月10日改定	1/1
提案日	件数	緊急度	対象箇所	件名	概算金額	完了日	備考	
令和2年8月20日	1	S	No. 2 第一過原水ポンプ	更新			更新予定（令和2年度設備改修工事）	
令和2年6月21日	2	S	No. 1 第一調整槽水中攪拌機	分解整備or更新			更新予定（令和2年度設備改修工事）	
令和2年5月20日	3	S	日報作成装置	不良箇所修理（システム更新）				
令和2年5月20日	4	S	給水ユニット	フレッシャー本体、ポンプ部更新			更新予定（令和2年度設備改修工事）	
令和2年6月21日	5	A	遮水シート漏水監視システム	機能診断（機器作動状況点検）			20200610遮水シート漏水監視システム不具合調査報告書参照	
令和2年5月20日	6	A	No. 2 曝気ブロワ	分解整備			整備予定（令和2年度設備改修工事）	
令和2年5月20日	7	A	No. 2 第二調整槽水中攪拌機	分解整備or更新				
令和2年5月20日	8	A	脱窒槽攪拌機	分解整備or更新				
令和2年11月20日	9	A	再利用水給水ユニット	更新				
令和2年11月20日	10	A	給水ユニット受水槽	更新				
令和2年11月20日	11	A	逆洗ポンプ	更新				
令和2年5月20日	12	A	No. 1 原水ポンプ	更新				
令和2年5月20日	13	B	No. 2 凝集助剤注入ポンプ	更新				
令和2年5月20日	14	B	No. 1・2 返送ポンプ仕切弁	交換				
備考	緊急度の判定基準							
	S：不具合を生じている、または生じる可能性が高く代替機器等がないため早急に実施を要求するもの							
	A：不具合の可能性があり、水処理・汚水処理に対する影響が大きく1年以内を目処に実施を要求するもの							
	B：水処理・汚泥処理に対する影響があり、今後2～3年以内に実施を要求するもの							
	C：直ちに水処理・汚泥処理に影響する可能性が低く、5年程度内に実施を要求するもの							

5.5 漁業集落排水処理施設

1) 10月の保守点検について

5地区の対象施設の内、戸島地区を除く4地区は10月8日、20日に維持管理を行った。

また、戸島地区については10月20日に保守点検を行った。

毎月の保守点検内容は、要求水準書に定められている項目を毎月実施し、後段に添付のチェックリストにより確認を行った。

■要求水準書の浄化槽の点検項目（毎月）

- ・浄化槽の維持管理（水質管理、機械管理、配管管理）
- ・浄化槽への薬剤投入
- ・中継ポンプ場の維持管理
- ・機器消耗品、油脂の管理

主要な点検結果は以下の通りである。

表 5-10 点検結果表

項目	点検日	池ノ浦	白浜	蜂ヶ尻	中の島	戸島	備考(適正值等)
放流水 透視度(cm)	10月8日	30	30	30	30	－	20cm以上
	10月20日	30	30	30	30	30	
ばっ気槽 溶存酸素(DO)	10月8日	○	○	○	○	－	
	10月20日	○	○	○	○	○	
放流水 pH	10月8日	6.0	7.1	7.0	6.2	－	5.8～8.3
	10月20日	6.1	7.1	6.9	6.0	6.6	
消毒薬投入量	10月8日	1.5	1.5	1.5	1.5	－	
	10月20日	0.5	有	有	有	1.0	

表 5-11 電流値の測定結果

機器名	点検日	池ノ浦	白浜	蜂ヶ尻	中の島	戸島
原水ポンプ		4.0	2.1	2.3	2.6	2.3
原水ポンプ N01	10月8日	2.4	1.8	1.6	2.0	－
	10月20日	2.4	1.8	1.6	2.0	1.8
原水ポンプ N02	10月8日	2.2	1.8	1.7	1.8	－
	10月20日	2.2	1.8	1.6	2.0	1.8
調整ポンプ定格電流値		2.2	1.5	1.3	1.7	1.3
調整ポンプ N01	10月8日	1.4	1.0	1.2	1.0	－
	10月20日	1.4	1.0	1.2	1.0	1.2
調整ポンプ N02	10月8日	1.6	1.2	1.0	1.0	－
	10月20日	1.6	1.2	1.2	1.0	1.2
放流ポンプ定格電流値		6.4	1.6	1.6	1.7	1.6
放流ポンプN01	10月8日	5.0	1.2	1.2	1.0	－
	10月20日	5.2	1.2	1.2	1.0	1.2
放流ポンプN02	10月8日	6.0	1.2	1.2	1.0	－
	10月20日	6.0	1.2	1.2	1.0	1.2
中継ポンプ定格電流値				5.8	6.8	6.8
中継ポンプN01	10月8日			5.8	5.5	－
	10月20日			5.8	5.5	5.0
中継ポンプN02	10月8日			5.8	5.0	－
	10月20日			5.8	5.0	5.2
ばっ気槽ブロアー定格電流値		8.4	3.0	6.0	6.0	3.0
ばっ気槽ブロアーN01	10月8日	8.2	2.4	3.6	3.0	－
	10月20日	8.0	2.0	3.6	3.2	2.2
ばっ気槽ブロアーN02	10月8日	8.0	1.8	3.4	3.2	－
	10月20日	8.0	2.2	3.4	3.0	2.0
調整ブロアー定格電流値		6.0	1.6	1.8	1.8	1.6
調整ブロアー	10月8日	3.2	1.2	1.4	1.7	－
	10月20日	3.2	1.2	1.4	1.6	1.8

2) 各処理施設における汚泥引抜量の検討

- ・年1回の浄化槽汚泥引抜量について現状と昨年度の引抜量から検討を行った。
今年度の汚泥引抜は、令和3年1月に実施する予定である。

表 5-11 汚 泥引抜量整理表

処理施設名	前回引抜量(t) (令和元年9月)	今回検討案(t)
池ノ浦	20	20
白浜	20	16
蜂ヶ尻	20	16
中の島	20	16
戸島	－	検討中



池ノ浦



白浜



蜂ヶ尻



中の島



戸島

図 5-9 各処理施設の沈殿分離槽第1室の状況

5.6 雨水ポンプ場

1) 今月の保守点検について

下表のと通りの日程で、各施設の維持管理を行った。

毎月の保守点検内容は、要求水準書（または業務特記仕様書）に準じて行い、後段に添付のチェックリストにより確認を行った。

表 5-12 点検実施日（10月）

機 場 名	月 点 検	週 点 検	週 点 検	補機点検
大間ポンプ場	23日	12日	27日	7日
公共ポンプ場	27日	7日	23日	12日
須崎ポンプ場	2日	8日	26日	22日
西部ポンプ場	8日	2日	22日	26日
浜町ポンプ場	2日	-	-	-

表 5-13 各ポンプ場燃料貯蔵状況（10月）

機 場 名	貯 蔵 容 量	9 月		10月（今月）		燃 料 増 減
	屋外タンク（kℓ）	屋内タンク（ℓ）	屋外タンク（kℓ）	屋内タンク（ℓ）	屋外タンク（kℓ）	屋外タンク（kℓ）
大間ポンプ場	10	580	9.0	590	9.0	0.0
公共ポンプ場	20	820×2	9.2	780×2	9.0	0.2
須崎ポンプ場	10	670	9.7	650	9.5	0.2
西部ポンプ場	5	520	3.6	480	3.4	0.2
浜町ポンプ場 （自家発電機）	390ℓ	390		390		0

*燃料増減は、月点検時の屋外燃料タンク増減量のみの数値

2) 修繕推奨項目表

10月の点検結果から作成した修繕推奨機器リストを以下に添付する。

先月より不具合が生じている公共ポンプ場のNo. 3, 4の原動機について、早期の分解整備等が必要である。

表 5-14 修繕推奨機器リスト（各雨水ポンプ場）

機場名	大間ポンプ場				
機器名	番号	不良内容	重要度	機能	外観
原動機	①	No.3 排気温度のバランス不良有り。燃料噴射ポンプ調整が必要です。	C	○	
自家発	②	排気温度のバランス不良有り。燃料噴射ポンプ調整が必要です。	C	○	
	③	温度計故障あり。交換が必要です。	C	○	
吐出弁	④	No.3 開時、異音あり。グリス交換時期です。	C	○	
放流ゲート	⑤	放流ゲートブルボックスに腐食、破損あり。修繕が必要です。	C	○	
冷却水ポンプ	⑥	No.1ポンプの絶縁が低下しています。No.1 0.5MΩ No.2 100MΩ No.3 100MΩ	B	○	
床排水ポンプ	⑦	絶縁が低下しています。No.1 10MΩ No.2 0.5MΩ	B	○	

機場名	公共ポンプ場				
機器名	番号	不良内容	重要度	機能	外観
原動機	①	No.3 排気温度のバランス不良あり。燃料噴射ポンプ調整が必要です。	C	○	
	②	No.2・3 温調弁固着あり。分解整備が必要です。	C	○	
吐出弁	③	吐出井水位計故障あり。腐食に対応した新規水位計の設置が必要です。	C	○	
放流ゲート	④	No.1・2 放流ゲート故障あり。修理が必要です。	C	○	
ポンプ	⑤	No.2 電動ポンプ軸受部、錆多し。修理が必要です。	B	○	
空気槽	⑥	No.3 空気槽ドレン抜き弁固着。修理が必要です。	C	○	
冷却水ポンプ	⑦	No.3 逆止弁機能不全があり。点検整備又は交換を推奨致します。	B	○	
	⑧	絶縁抵抗測定値。No.3 100MΩ No.4 100MΩ 予備100MΩ	B	○	
高架揚水ポンプ	⑨	絶縁が低下しています。No.1 0.4MΩ No.2 9.0MΩ	B	○	
No.3 No.4 エンジン	⑩	定格回転数900rpm対しクラッチ接続時No.3No.4エンジン共に690～740rpmで変動し、エンジンの回転数が上昇しません。 当面は現状にて排水運転をしていただき、早期の分解整備、交換を推奨致します。	A	○	

機場名	須崎ポンプ				
機器名	番号	不良内容	重要度	機能	外観
外部設備	①	除塵機、沈砂掻揚機共にチェーン発錆あり。塗装(取替)の必要です。	B	○	
放流ゲート	②	故障 動作不良有り、修繕必要です。	C	○	
原動機	③	No.2 温調弁 一部固着あり。分解整備が必要です。	C	○	
吐出弁	④	No.2 運転時、異音あり。グリス交換時期です。	C	○	
冷却水ポンプ	⑤	No.2 バルブハンドル固着あり。交換が必要です。	C	○	
	⑥	絶縁が低下しています。No.1 0.5MΩ No.2 0.4MΩ No.3 11.0MΩ	B	○	
床排水ポンプ	⑦	絶縁が低下しています。No.1 80MΩ No.2 100MΩ	B	○	

機場名	西部ポンプ場				
機器名	番号	不良内容	重要度	機能	外観
吐出弁	①	No.4 運転時、異音あり。グリス交換時期です。	C	○	
原動機	②	No.1・3 温調弁固着あり。分解整備が必要です。	C	○	
	③	No.2 給気圧計故障あり。交換が必要です。	C	○	
	④	No.3 温度計故障あり。交換が必要です。	C	○	
減速機	⑤	No.2 減速機油温計故障あり。交換が必要です。	B	○	
電気関係	⑥	電気室一号制水扉開度指示計故障あり。交換が必要です。	C	○	
流入ゲート	⑦	No.2 流入ゲート開動作時に過トルク検知あり。整備が必要です。	C	○	
沈砂掻揚機	⑧	2号水中軸上下用故障ランプ点灯、砂堆積の疑いあり。整備が必要です。	C	○	
天井水銀灯	⑨	2灯 点灯せず。交換が必要です。	C		○
沈砂水平搬出機	⑩	現場盤、電流計故障あり。交換が必要です。	C	○	
冷却水ポンプ	⑪	No.1 ポンプ揚水能力が落ちています。今後の経過を観察します。	B	○	
	⑫	絶縁が低下しています。No.1 0.4MΩ No.2 0.7MΩ No.3 1.5MΩ	B	○	
床排水ポンプ	⑬	絶縁が低下しています。No.1 1.1MΩ No.2 6MΩ	B	○	

機場名	浜松ポンプ場				
機器名	番号	不良内容	重要度	機能	外観

6 その他連絡事項

1) 次回定例会日程調整

次回定例会議（11 月度）の日程調整を行った。